

□令和7年度スローガン

笑顔あふれる

「み」みつけよう夢を

「た」高めよう志へ／助け合おう友と

「ち」知恵と

「や」やる気と

「ま」真心で

【ひとり言】

全校で
「命」について考えた
教育週間でしたが、
日常の場面でも
命と向き合う子どもたちの姿が
見られました。

それは、前号でお伝えした、
ポンズの「死」
に関わってのことです。

前号で、
ポンズの遺骨を
飼育委員さん作成の
「ポンズありがとうボード」
と共に、
職員室前廊下に
飾っていること、
そこにたくさんの花や折り紙、
メッセージなどが
手向けられていることを
お伝えしました。

実はその後も、
休み時間に一人で来て
手を合わせる子…、
友だちと一緒に折り紙等を
手向けに来る子…など、
毎日のように、
子どもたちが訪れ、
手を合わせてお参りする姿が
途切れないのです。

今では下の写真のように、
お供え物が
テーブルいっぱい
になりました。

小さな命を大切に思う心…。
御館山小には、
そんな優しい子が
たくさんいます(*^o^*)



教育週間、たくさんのご来校有り難うございました。

先週6月23日(月)～27日(金)は、長崎っ子(御館っ子)の心を見つめる教育週間でした。
この教育週間は、学校と家庭・地域が連携し、児童一人一人の心に寄り添いながら、
命を輝かせて生きる、豊かな子どもたちの育成を目指した一週間です。
その意図をご理解いただき、この期間中、延べ約800人もの皆様(地域からも延べ100人超)に
ご来校いただき、子どもたちの学習や生活の様子を見守っていただきました。
本当に有り難うございました。

今日と次号で、教育週間の取組についてお知らせします。
まずは、教育週間初日に行った「命の講話」と「学校支援会議」についてご紹介します。

6 / 2 3 (月)

○命の講話

教育週間初日には、校長講話を行いました。

今回は、「思いやり」について考えました。「思いやり」を辞書で調べると、「相手の気持ちを理解し、相手の立場になって考え、行動すること。相手を気遣い、いたわる気持ち。」とあります。それはつまり、「今、自分がこんなことをしたら、相手はどんな気持ちになるだろう?」と考え、「その相手を大切にすること」だと思います。この教育週間は、「思いやり」について考え、行動する一週間にしてほしいと子どもたちに伝え、1つの曲を紹介しました。

『OMOIYARIの歌』という曲です。

『OMOIYARIの歌』

もしも人々が「思いやり」を なくしたら
ちきゅうは 一びょうで きえてしまうね
だってぼくたちは 「思いやり」につつまれて
生まれてきた そだてられた
水やくうきが ひつようなように
だれもひとりで 生きてはゆけない
たおれそうな人には そっと手をさしのべて
OMOIYARIは 心をあたためるプレゼント
「ありがとう」って言われたら なぜかうれしくなったよ
OMOIYARIは せかいを しあわせにするまほう

もしも友だちが かなしい思いしてたら
しらないふりなんて したりしないで
だってぼくたちは きぼうをにぎりしめて
生まれてきた 地球(ほし)のなかま
海や山や森や動物も ぼくたちの「思いやり」で
みらいが かわってゆく
自分勝手はやめて みんなえがおにしたい
OMOIYARIは 心をあたためるプレゼント
むずかしそうだけど ちゃんと心にあるよ
OMOIYARIは せかいを へいわにするまほう

この曲を作ったのは、歌手の藤田恵美さんという人で、昔「ひだまりの詩」という曲がヒットした「ル・クプル」のボーカルの方です。(ご存じの方もいらっしゃるでしょう。)この歌がつくられたのは2008年、今から17年前です。その年、「私たちの周りからいじめをなくそう」ということを広く訴えるために「OMOIYARIサミット」という会議が開かれました。その中で、「いじめをなくそうと訴えるよりも、思いやりの大切さを歌で伝えることが出来ないか?」との意見が出され、このサミットで小学生が合唱するテーマソングを藤田さんに依頼して出来たのがこの曲です。依頼を受けた藤田さんは、988校の小学生にアンケートをとり、そこに書かれた言葉を歌詞に生かすことにしました。特に藤田さんが惹かれたのは「もし思いやりがなかったら、この世の中はめっちゃくちゃになってしまう」という1文だったそうです。この1文を生かした歌詞でこの歌は始まります。

歌詞の意味をよく考え、「思いやり」について考え、行動する一週間にしてほしい…という願いを込め、教育週間中は、この「OMOIYARIの歌」を毎日流しました。子どもたちからは、「歌詞がとても好きなので、歌詞のプリントを下さい」「学級で歌います」などという声が寄せられました。この歌のように「思いやり」「ありがとう」が飛び交う御館山小でありたい…その努力を継続しなければならないと思います。

○御館山小学校支援会議

同じく月曜日には、『御館山小学校支援会議』を開催しました。この学校支援会議は、「学校・家庭・地域の代表が集まり、地域社会の中で子どもたちを健やかに育むために、具体的な目標(学校教育目標)を共有して、協議・共有・協働する組織」であり、ごく簡単に言うと、『**実に心強い”学校の応援団”**』です!

この日の会にも、40人を超える皆様にご出席いただき、子どもたちの様子や今後の学校経営について説明し、それぞれのお立場から、貴重なご意見をいただきました。昨年も「健康・安全」「児童・学習支援」「環境整備」「読書推進」「家庭・地域連携」等様々な角度から学校を手厚く支援していただいており、今年も既に2年生の「町探検」の安全サポーターや、5年生の家庭科「裁縫(※玉どめ、玉結び等)」のスペシャルティーチャーとして、子どもたちの学習支援に関わっていただいています。(教育週間中に行われた家庭科の授業支援については次号で詳しくお伝えします。お楽しみに…!)

関係者の皆様、今後も、御館山小学校及び子どもたちの健全育成にお力をお貸いいただきますよう、宜しく願いいたします。